



図書館つうしん



読書で過ごす「ゆく年くる年」

年末年始の休暇に、ゆっくりと読書はいかがでしょうか。近年刊行の小説から
司書イチ推しの作品とクリスマスにピッタリの絵本を紹介します。



『スピノザの診察室』
夏川 草介 著／水鈴社
地域医療の支援病院で現役医師として働く主人公がたどり着く人の幸せとは？ いったい……



『逆ソクラテス』
伊坂 幸太郎 著／集英社
舞台は小学校。先生の先入観を崩そうと様々な作戦がクラスメイトを巻き込んで展開。果たして結末はいかに。(表題作の他に4話の短編を収録)



『チョコレート・ピース』
青山 美智子 著／マガジンハウス
鮮やかなチョコレートが主人公の背中をそっと押す。祝福の連鎖が動き始める。様々なピースの恋愛短編が、一つのパズルとなる。優しさ120%の物語。



『成瀬は信じた道をいく』
宮島 未奈 著／新潮社
好奇心旺盛な主人公の成瀬が次々と巻き起こす成瀬旋風についてこれるか。『成瀬は天下を取りに行く』の続編。乞うご期待。



はじめてのクリスマス
マック・パーネット／文
シドニー・スミス／絵



クリスマス
いないいないばあ
インゲラ・アリア
ニウス／著



クリスマス
べんとう
木坂涼／文
いりやまさとし／絵



100にんの
サンタクロース
谷口智則／作・絵

図書館イベントカレンダー

クリスマス会 午前11時～

12月6日(土) くにさき図書館
(アスト1階マルチホール)

12月13日(土) 国見図書館
(国見保険福祉センター和室)

12月20日(土) 武蔵図書館 (館内)
安岐図書館 (館内)

★クリスマスの絵本の読み聞かせや楽しい工作など、各館で企画しています。ぜひ、ご家族などでご参加ください。

12月の休館日【月曜日は定期休館日】

12/26(金) 月末資料整理日

12/28(日)～1/3(土) 年末年始の休館

くにさき図書館からのお知らせ

12月以降に実施される空調設備工事に伴い業務の一部を下記のとおりといたしますので、ご理解願います。

○工事期間中の新聞の閲覧

2日分の新聞をアストくにさき1階ラウンジに設置します。閲覧のみでコピーサービスは行いません。

○貸出した資料の返却場所

ブックポストをご利用ください。また、他の3館は開館していますので、他館で返却することもできます。

※**工事は12月～3月の予定ですが、休館などの詳細は別途お知らせします。**

蔵書検索はこちら



市公式
Instagram



国見図書館 ☎82-1585 武蔵図書館 ☎69-0946 くにさき図書館 ☎72-3500 安岐図書館 ☎67-3551

こころをつなぐ 人権シリーズ



シリーズ部落差別の問題③4 「小さな革命」

文責…社会教育課 郷司康夫

「小さな革命」は、「SUPER BE AVE R」の楽曲です。私がこの楽曲を知ったのは、家族が聴いていたからで、偶然耳にいただけだったのですが、人権の仕事に携わらせていただき、学んできたことと重なり、すごく共感しました。今の自分から変わりたいと思っている人もいますが、変わりたいと思っていない人もいます。変わりたいと思う人には、この楽曲が、大きな世界は変えられないかもしれないけど、小さな一歩を踏み出すきっかけになってほしいという思いがストリートに歌われています。逆に、変わりたいくない人に配慮して、弱音をこぼしてもよいし、変わりたいと思う人だけでもよいというような内容の歌詞があり、逃げたってよいんだよというやさしさも歌われています。変わることを簡単に思われる方もいるかもしれませんが、そんなに簡単なことではないのです。

工作上、人権について学んでいる県下の高校生、中学生と接する機会があります。その学

習の場では、被差別部落にルーツをもつことを他の人に打ち明けられるのかというような議論をすることがあります。中高生の皆さんは、自分のまわりの状況を考えると、打ち明けるといふ一歩を安易に踏み出すことはできないと考えている方が大半です。真剣に考えているからこそその答えであると思います。私たち大人が何もせず、そんなに悩む必要がないというのは、無責任です。悩まなくてよいような社会であったならば、悩まずに一歩を踏み出せているはずです。個人の小さな一歩を踏み出す努力も必要ですが、その一歩を踏み出せる環境をまわりの多くの大人たちが作り出せることの方がより優先度が高いのではないのでしょうか。

「小さな革命」について、中高生の例で考えてみると、行動することを差別される側に押し付ける、つまり、「自分の事をみんなに勇気を出して打ち明けてください」とだけ言っているように聴こえてしまうかもしれません。

もちろん、他人に打ち明けることができるのも大切な事ですが、前述したように社会がそのような状況になっていないのです。被差別部落にルーツをもつ方が言いたいことを言え、苦しむことのない社会にするために、被差別部落にルーツをもつ方以外こそが、「小さな革命」を起こしていかなければならないのではないのでしょうか。「SUPER BE AVE R」の後押しをしたいという思いは、きっとそういうことだと私は思います。差別を見たり、聞いたときには、それを否定する行動をとるといふことは、難しいと感じる方が多いかもしれません。しかし、心の柔らかい部分をさらけ出す困難さには、比べるべくもないと思います。皆さん、まずは自分にできる「小さな革命」を起こしましょう。そして、それが大きな世界を変えるきっかけになるのです。

